

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-248946

(P2002-248946A)

(43) 公開日 平成14年9月3日(2002.9.3)

(51) Int.Cl.

B 6 0 J 11/00

識別記号

F I

B 6 0 J 11/00

テマコード(参考)

A

Q

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2001-49073(P2001-49073)

(22) 出願日 平成13年2月23日(2001.2.23)

(71) 出願人 501076715

堀場 勝

愛知県名古屋市長郷区松月町5丁目8番地

(72) 発明者 堀場 勝

愛知県名古屋市長郷区松月町5丁目8番地

(74) 代理人 100078721

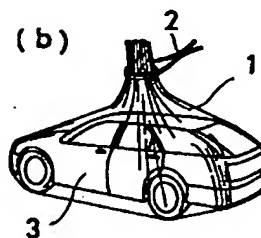
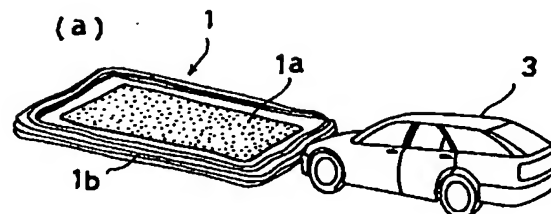
弁理士 石田 喜樹

(54) 【発明の名称】 車両用水害対策グッズ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 車両が水没しても被害を最小限に留める。

【解決手段】 袋体1と結び具2とのセットで構成された車両用水害対策グッズを使用して、袋体1で車両3をすっぽりと包み込み、袋体1の開口部1bを結び具2で縛って密封し、冠水しても水から車両を守る。そして前記袋体1は、車両の垂直方向投影面をカバーする大きさの底1a付きタイプで、開口部の周縁を底の内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたみ可能としたり、車両の水平方向投影面をカバーする大きさの底1a付きタイプで、底1a及び開口部1bの外周適宜部位に紐体を取り付けられたものとすることができる。



【課題を解決するための手段】本発明は、発想こそ奇抜

40

【0009】図3において、袋体4は、横長い筒状で、片端は底4aで塞がれ、底4aの周りと開口部4cの周りとは紐体5、5・・・が取り付けられ、周側部4の内面

には、長手方向に平行な二筋の補強シート6、6が貼り付けられている(図4参照)。このように形成された袋体4は、図4に示すように、例えばカーポート7の梁などに紐体5、5・・・を結びつけて筒状の車両の乗り入れ空間を形成し、その中に車両3を乗り込ませて結び具2にて開口部4cを塞げばよい。開口部を塞ぐ場合、前記実施例のようにたくし上げて屋根の上で結ぶには脚立などを利用しなくてはならないが、袋体を横長にセットすることで、低い位置にて一人でも開口部を閉塞できる。いずれもクレーンなどの重機は必要ないので、一般家庭でも手軽に利用でき、車輪と接する部分が補強されているので信頼性も高い。前記袋体を結んだ結び具は、立ち木などに縛り付けておくことで、水位が高くなっても流されることが防止される。

【0010】尚、複数の試作品に対して実験したところ、いずれも期待した結果が得られ、ごみ回収用のポリ袋を繋ぎ合わせて形成したものにあっても、タイヤが完全に隠れてしまう程度の水位では、エンジンルーム内への水の浸入は確認されなかった。しかしながらそれ以上の水位についての実験は、専用の設備がないことや、川や池で行うとしても大掛かりな機材が必要であるし、現実の洪水を想定すれば、浮き上がって器物に衝突したり、流されてしまうなどのリスクがあるので実施はしていないが、現在入手可能なシート地で充分対応できると確信している。又、あまり大きな袋体は、水位が増すと車両の周囲に漂うので、空気を抜いて袋対を車体に密着するようにすることにより好結果が得られたことを報告しておく。そして袋体と結び具との材質や形状は実施例に限定されるものでなく、袋体形成用のシートは、麻布

の表面にゴムをコーティングしたものや、布地の表面にビニールシートを貼り合わせたものなど、所定の防水性と耐久性が確保できるもの、又結び具は、合成樹脂の紐体以外、ワイヤー内蔵の紐体や、金属或いは合成樹脂製のクランパーなどを採用しても差し支えなく、袋体の大きさや形状、紐体の取り付け位置などは、車種によって選択できるよう複数種類を設定しておくことが望ましい。

【0011】

- 10 【発明の効果】本発明によれば、水害の予防策として、車両の水没が予想された場合、袋体で包み込むことにより、水没しても車両を水から保護し、難を逃れることが可能となる。そして袋体が、開口部の周縁を底の内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたみ可能であれば、重機などを利用せず、手軽に利用できる。又、袋体の底及び開口部の外周適宜部位に紐体に取り付けられていれば、カーポートを利用して筒状の車両の乗り入れ空間を形成しやすいので、作業を行うのは一人で十分である。

【図面の簡単な説明】

- 20 【図1】本発明に係る車両用水害対策グッズの説明図である。

【図2】車両用水害対策グッズの使用説明図である。

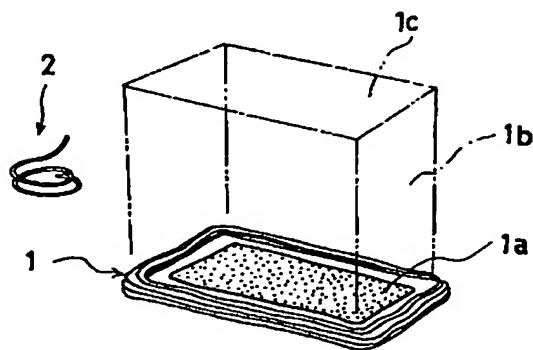
【図3】車両用水害対策グッズの変更例を示す説明図である。

【図4】変更例の使用説明図である。

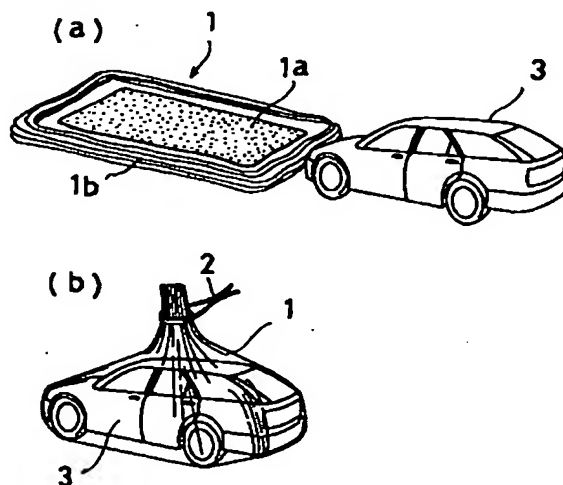
【符号の説明】

1・4・・・袋体、1a・4a・・・底、1b・4b・・・開口部、1c・4c・・・周側部
2・・・結び具、3・・・車両、5・・・紐体、6・・・補強シート、7・・・カーポート。

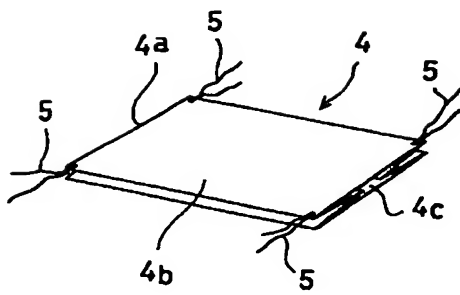
【図1】



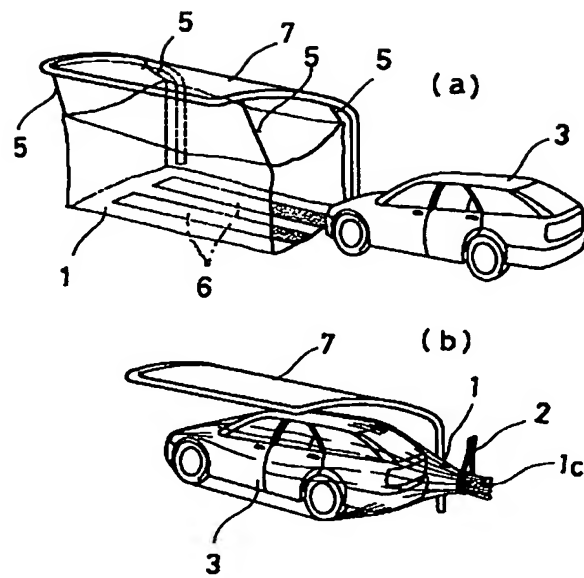
【図2】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP02002248946A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002248946 A
TITLE: GOODS FOR FLOOD-CONTROL MEASURE FOR VEHICLE

PUBN-DATE: September 3, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HORIBA, MASARU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HORIBA MASARU	N/A

APPL-NO: JP2001049073
APPL-DATE: February 23, 2001

INT-CL (IPC): B60J011/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To minimize a damage when a vehicle is submerged.

SOLUTION: A vehicle 3 is completely wrapped by a baglike body 1 by using goods for a flood-control measure for a vehicle which comprises a set of the baglike body 1 and a tying tool 2, and an opening part 1b of the baglike body 1 is sealed by tightening with the tying tool 2, thus, the vehicle is protected even when it is covered with water. The baglike body 1, in a type with a bottom 1a which covers a surface of projection in a vertical direction of the vehicle, the periphery of the opening part can be folded in an accordion state so as to overlap on the inner face periphery of the bottom. In a type with a bottom 1a which covers a surface of projection in a horizontal direction of the vehicle, it is possible that a rope is mounted on the outer periphery suitable part of the bottom 1a and the opening part 1b.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO